

2005年(平成17年)6月17日(金曜日)

### ヒートアイランド現象

## 自治体、対策に熱

夏の都市部の気温が高くなる「ヒートアイランド現象」を緩和するため、自治体は対策を急いでいる。小学校の校庭や庁舎の屋上を緑化し、農業用水路の水車を回し、気化熱で気温を抑える実地も始まる。ただ、広い地域の高温水路を解消するには、取り組み民間にも広がる必要がある。

### 気温の抑制 試み相次ぐ

大阪府は府内の公立小学校を対象に、校庭芝生を植える。今年度は九所に生を植える。校庭芝生は、地温低下が期待される。始めは、校庭の一角から、徐々に校庭全体に広がる。府は、校庭芝生を植えることで、校庭の気温を下げ、児童の健康増進を図りたい。府は、校庭芝生を植えることで、校庭の気温を下げ、児童の健康増進を図りたい。

### 民間への波及課題に

近畿の自治体はヒートアイランド対策に注力している。上野市は、急速な気温上昇への危機感から、芝生を植える。芝生は、地温低下が期待される。始めは、校庭の一角から、徐々に校庭全体に広がる。府は、校庭芝生を植えることで、校庭の気温を下げ、児童の健康増進を図りたい。

### 初期工事や維持コスト低減カギ

舗装の工事は通常の舗装の二倍程度かかる。また、芝生を植える際には、水やりが必要。しかし、水やりは、初期工事や維持コストを低減させる。また、芝生を植える際には、水やりが必要。しかし、水やりは、初期工事や維持コストを低減させる。



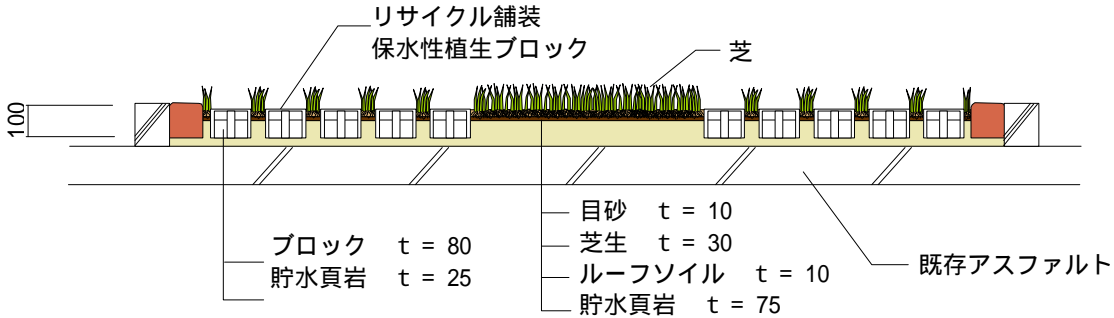
### 兵庫県グラスパーキング推進事業

- ・兵庫県はヒートアイランド対策及び都市緑化の有効策として、グラスパーキング(芝生化駐車場)を推進する  
優秀と認められた工法は技術登録され、この工法の普及及び推進がなされる
- ・NPO法人グリーンアライアンスは民間34企業の中唯一のNPO法人として参加、7月7日施工を完了
- ・工法名：グラスパーキング“無灌水”

この工法の特徴は「貯水頁岩」(自然石)を利用することにより、自然降雨のみで芝生を養生することで、下記のメリットがある

1. 水道代、電気代、散水設備とメンテ、人件費が不要
2. 駐車中の散水作業及び車を汚すトラブルを解消
3. 貯水頁岩はメンテ不要で半永久的に使用が可能
4. 治水対策(都市型豪雨)として有効(貯水能力500L~1000L/1台)
5. 屋上緑化、海浜(海水浴場等)緑化に有効

グラスパーキング“無灌水”



(特許出願)



内閣府認証  
 NPO法人.Green Alliance  
 (特定非営利活動法人 グリーンアライアンス)  
 TEL : 078-646-7102 FAX:078-646-7104  
 http://www.greenalliance.or.jp